

講演 「子どもの成長を願う 親と教師たちへ」

京都大学大学院 助教授 桑原 知子先生（教育学博士・臨床心理士）

多くの府民の参加のもと、「子どものこころ セミナーⅠ」を京都大学大学院教育学研究科との共催で実施しました。

和やかな笑いの中にも充実した内容の講演で、明日からのエネルギーとなるセミナーとなりました。参加された多くの皆さんからは、「教育は人間同士の関係性の中で動いていくものであり、『モノ』を扱うようにマニュアルを作ることはできないという講師の言葉がとても心に残った」などの感想をいただきました。

桑原先生が話されたように、例えば不登校の子どもへの大人のかかわりにおいては、「不登校の原因を調べて、処置をして、除去する」というように、「よくないことを取り除く」、すなわち「モノを修理する」かのような発想でかかわりがちです。「モノ」であるならば、同じ形をしている方が「集団」として扱いやすく、扱う側からすればその方が便利なのです。けれども、人の「こころ」は「モノを修理する」かのように、そう簡単に「変える」ということなどできませんし、「個々がつまみ」を「モノ」を扱うように「同じ形にする」という発想ではうまくいかないものだと思います。

子どもが持つ「成長する力」を信じて、子どもたちに「大人たちの『こころ』のエネルギー」を注ぐということが、私達大人にできる最も大事なことであることを学びました。

きけますか？ 子どものサイン

ITEC → HOME → お知らせ から
コンテンツを閲覧できます。



子どもの「サイン」に気付いたとき、教師は子どもの声に耳を傾け、内面の理解に努めなければなりません。

不登校を未然に防ぐために、子どもとどのように関わるかが教師に求められているのか等についてまとめています。

今後の校内研修会でもご活用ください。

府民開放講座 「子どものこころセミナーⅡ」

日時 平成18年10月21日（土）
13:30～16:00（受付開始13:00）

会場 京都府総合教育センター 北部研修所

講師 東京学芸大学 教授 上野 一彦 先生
「困っている子どもの理解とその支援」

不登校の未然防止のために必要なLD、ADHD、高機能自閉症等の児童生徒への大人の関わりについて理解を深めます。

「特別支援教育コーディネータースキルアップ講座」 LD、ADHD、高機能自閉症等の児童生徒の指導・支援を進めるために

実践的指導力や専門的力量をより高めることをねらいに、「特別支援教育コーディネーター養成講座」修了者を対象として、各教育局毎に小・中学校を会場として実施している講座です。17年度は小学校6校で実施しましたが、本年度は新たに中学校2校（乙訓・山城局管内）を加えた8校で実施しています。

7月に山城教育局管内の小中学校で実施した講座では、小・中学校の先生方が実際に、通常の学級の授業を参観することで、子どもの教育的ニーズや認知特性を把握するための素材を具体的に詳しく学ぶことができました。加えて「適切な指導・支援をつなぐ」をテーマに「子どもを理解するためのエピソードの蓄積」、「障害名ではなく多面的な児童理解に基づく適切な手だての引き継ぎ」、「個別の指導計画の作成の工夫」についても研究協議の中で深めることができました。

今後、各学校でアセスメントや集団指導における個に応じた手だて等の研修会において参考になる内容でした。